

2021年度（令和3年度）

学校関係者評価報告書

2021年6月

学校法人彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

2021年度 学校関係者評価報告書

学校法人彰栄学園 彰栄保育福祉専門学校は、2020年度の自己評価を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここに報告します。

《本校の学校関係者評価について》

学校関係者評価は、学生・卒業生、関係業界・団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、「彰栄保育福祉専門学校 学校評価実施規程」に沿って学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

◆目的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上を図ることを目的とします。

◆自己評価・学校関係者評価の対象期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

◆学校関係者評価委員会の委員構成

氏名	所属	選任区分
鈴木 一伸	二ツ橋あいりん幼稚園 副園長	企業関係者
山本 慎介	わかたけかなえ保育園 園長 / 東京男性保育者連絡会 事務局長	業界団体関係者
児島 康夫	キングス・ガーデン埼玉 理事	企業関係者
日比 暁美	白ばら学園第2こどもの家 副園長	教育関係者
津村 利治	彰栄保育福祉専門学校 同窓会	卒業生

◆学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 2021年5月15日（会場 彰栄保育福祉専門学校）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部参加者はZoomでの参加

【内容】

- ・2020年度自己評価に基づいた学校関係者評価（評価アンケートに基づく）
- ・学校関係者評価の確認、意見、改善点の取りまとめ など

◆学校関係者評価基準

- ①自己評価結果の内容は、適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は、適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は、適切か

◆評価点の点数の区分

- 4点：適切（な自己評価、に実施） 3点：概ね適切（な自己評価、に実施）
2点：やや不適切（な自己評価、に実施） 1点：不適切（な自己評価、に実施）

◆評価項目の状況

評価項目 基準1～10までの各委員からの評価の平均値及び意見、改善点などのコメントは次の通り

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界などの人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3 理念などの達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4 社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・介護福祉科設置について社会のニーズを捉えた将来構想がいまひとつ不明確である。
- ・引き続き教育理念に基づく学校運営に努めてほしい。
- ・「第四次産業革命」という言葉もあるように、インターネット(IOT)、ビッグデータ、テクノロジー、バイオテクノロジー、再生可能なエネルギー開発などによる影響で私たちの労働と生活が急速度で変化している。さらに、新型コロナが発生し、教育や経済に深刻なダメージを与え、社会を変貌させている。こうした中で保育者、保育者養成に求められることは何かを吟味することは必要かもしれない。

【基準2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.8
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.4
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.4
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.8
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・新型コロナ禍の中で年度事業計画の実施は難しかったろう。また中長期計画の立案・作成も非常に困難であったろうと推察する。その中で教職員の懸命な教育活動の継続・実施努力に関しては敬意を表する。
- ・学生募集が大変厳しい環境にあることは重々承知しているが、学生募集は最重要事項。学校の歴史と伝統は手に入れたくても手に入るものではない。さらにアピールできるところをつくり、高校生のみならず保護者や高校の先生にも魅力を感じてもらえることができるはずである。ピアヘルパーなどの資格を取得できるようにすることはとても良い考えと思いますが、加えて卒業後の保育者としての生涯発達・生涯学習をサポートするシステムをつくることも魅力的なのではないかと提案する。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.4

評価項目	評価の平均値
3-9-4 授業評価を実施しているか	4
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
3-10-2 作品及び技術などの発表における成果を把握しているか	3.6
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.6
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・アンケート内容、記入結果が反映されることを期待する。反映された場合またそうでない場合であっても学生側に回答、説明があると良いと思う。
- ・授業改善のためのアンケートについて担当教員へのフィードバックだけではなく、どのような改善につながったか学生への回答が必要と考える。
- ・シラバスは大変充実している。教科担当教員によって多少の差はあるものの概ね意欲的であり学生の心に訴える内容が盛られ、授業の案内としても行き届いた配慮がある。「授業改善のためのアンケート」実施結果は担当教員にフィードバックすることに加え、教員全体に共有化され学生理解の深化などに活用してほしい。
- ・キャリア教育の定義の仕方の問題かとも思うが、激変するこれからの社会で保育者として生き生きと生きるためには、労働と同様に学習を遂行する「学び続ける保育者」であることが必要である。子どもや保護者保育方法や技術などについてデータや研究機関などを検索して自ら学べるシステム、環境を提供し卒業生も在校生同様利用できるとよいと考える。保育の現場には問題は山積している。現場には様々なテーマがあるが、なかなか解決まではいかない。母校でヒントのようなものが得られる環境があるとよい。授業評価については学生の感想や意見を取りまとめて授業改善に役立てられるようしていることはよい方法だと思う。項目別の機械的な5段階評価などのまとめはあまり有意義なものとは思えない。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	3.8
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3.8
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・就職率100%は素晴らしいと思う。
- ・対面による学生指導の大切さは言うまでもないがメールやオンラインによる従来とは異なる補法による対応の有効性も研究してほしい。
- ・卒業生の社会的評価が高いことはよく知られているがさらに本校のために協力してもらう方法も考えられてよい。
- ・卒業生のご活躍は後輩にも学校にもよい影響を及ぼしていると思う。ありがたい。「学び続ける保育者」をサポートするシステムをつかって“表現”以外の領域でもその道の専門家を育てていけるとよいと思う。

【基準5】学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職など進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.6
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.4
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.6
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.6
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.2
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	3.2

評価項目	評価の平均値
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3.4
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.8
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・コロナ禍で浮き彫りとなったコミュニケーション不足、課外活動支援はコロナ収束後はぜひ力を入れて頂きたい。
- ・コロナ禍における学生支援は非常に難しいものと考えますが、回復までにはまだ時間がかかることもあり学校全体で取り組む姿勢を保ち続けてください。
- ・カウンセラー及び副担任の配置は個別対応として有効であり、さらに活用してほしい。
- ・高等教育無償化や奨学金制度は現今の社会状況の中で必要度が増しており学生への丁寧な説明をしてほしい。
- ・健康管理は昨今心身両面の健康指導が青年期の学生に必要であることを痛感している。
- ・留学生に対する個別指導の事例は個々の教員によって手厚くなされているが今後全体の体制として整えられていく必要が増してくる。
- ・退学率の低減については、目に見えない大変な労力、ご尽力の賜だと思う。学生が学業に励むことができるように、さまざまな支援をされていることにも頭がさがる。学生には学業を最優先で取り組んでほしい。

【基準6】教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具などを整備しているか	4
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修などの実施体制を整備しているか	3.8
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・学生を交えた避難訓練とは具体的にどのようなものか。
古い校舎の構造的な制約があり防災に対する心配はあるので対応マニュアルを整えてほしい。
- ・コロナが収束した暁には、海外研修のチャンスがあり、見識を深められれば幸運である。保育園では毎月一回避難訓練を行っている。21世紀になってから気候変動で自然災害が予想もつかないものとなることもあり、油断禁物である。学生は現場に出ると、指導者になるので、こうした訓練もしておくが良い。保育者でこうした分野の専門家的存在になっている人もいる。

【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校など接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.8
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	3.6
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善などに活用しているか	3.8
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料などについて、適正な取扱を行っているか	4

【意見・改善点など】

- ・指定校推薦制度を進め、学生募集に努めてほしい。

【基準8】財務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2.4
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.4
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.4
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3.4
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

【意見・改善点など】

- ・よい教育をしているにもかかわらず、財務基盤が不安定なのは少子化の中悩ましい事実である。

【基準 9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準などを遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.8

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3.4
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・コロナ禍の現在では難しい部分でしょう
- ・新型コロナ感染が一日でも早く終息し、地域社会にも開かれた教育機関として活動ができる日を待ち望んでいる。

以上

学校法人 彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

〒112-0001 東京都文京区白山 4-14-15

TEL 03-3941-2613 FAX 03-3946-4710

<https://www.shoei.ac.jp/>